

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。調査結果に示されているのは、学力の特定の一部ではありますが、この結果を基に、本校の教育の改善と向上に向けて、課題と改善対策等を以下のようにまとめましたので、ご報告いたします。

調査結果のまとめ

【学力調査の結果】

国語・・・全国・県平均と同程度の結果となりました。

総括

- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討すること

はよくできています。一方で、課題となったのが次の事項です。

- ①目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること
- ②登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること
- ③人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること

改善と向上に向けて

①については、集めた材料を聞き手が知りたい内容と自分が伝えたい内容に整理したり、目的に応じて優先順位を考えたり、提示する資料を検討したりする機会を増やします。

②については、会話や行動などについて登場人物相互の関係を想像したり、場面の様子と登場人物の心情の关系到に着目したりして、描写を基に登場人物の相互関係や心情などについて捉えることができるよう指導してまいります。

③については、無回答が2割にも上りました。言葉の特徴や使い方に関する事項等の基礎的・基本的事項と関連させて、自分の考えを適切に表現することができるようにするとともに、文章を読む際に、「人物像」や「物語の全体像」、「表現の効果」などの観点で読んだのかを明確にしていくことができるよう指導してまいります。

算数・・・全国・県平均を上回る結果となりました。

総括

- ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること
- ・除数が小数である場合の除法の計算をすること
- ・簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること

はよくできています。一方で、課題となったのが次の事項です。

- ①速さの意味について理解すること
- ②示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断すること
- ③直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること

改善と向上に向けて

算数の基本能力である計算力（正確さと速さ）を鍛える取り組みを進めます。また、題意を正確に読み取り、図や式に表すこと、出した答えが題意に沿ったものか、妥当性があるものかを検討することについて指導してまいります。さらに、統計的な問題解決の方法を進んで生活に生かすことができるよう、学習内容と普段の生活との結びつきについて随時意識させてまいります。

【児童質問紙調査の結果】

グラフの凡例

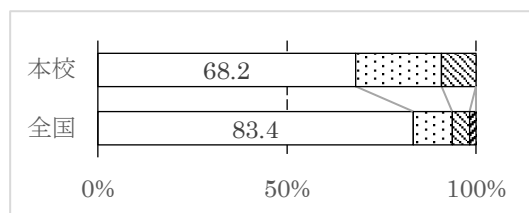
□ 当てはまる

▨ どちらかといえば、
当てはまる

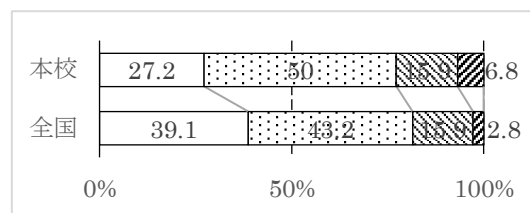
▨ どちらかといえば、
当てはまらない

▨ 当てはまらない

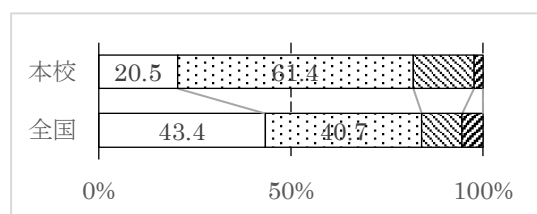
・朝食を毎日食べている



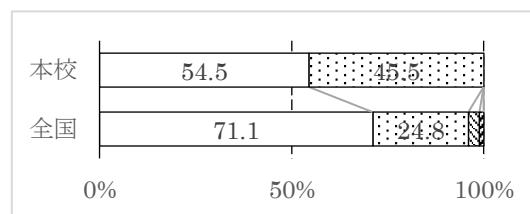
・同じくらいの時間に寝ている



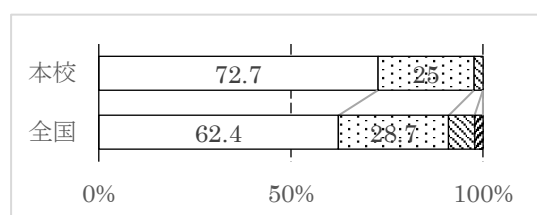
・自分には良いところがある



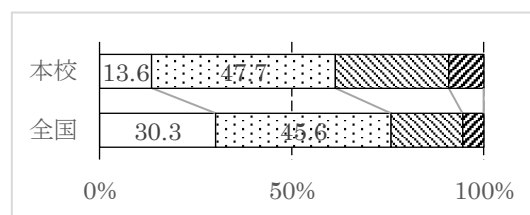
・人の役に立つ人間になりたい



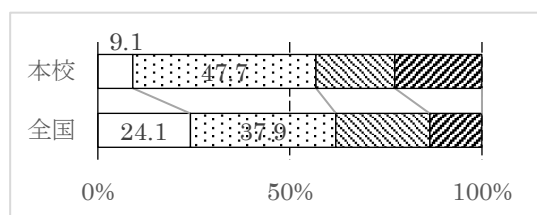
・友達関係に満足している



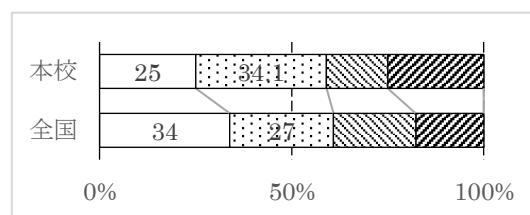
・自分と違う意見について考えるのは楽しい



・国語の勉強が好き



・算数の勉強が好き



総括

- ・生活習慣を整えることは、毎日元気に学校生活を送るためには欠かせません。「早寝、早起き、朝ご飯」を意識して取り組んでほしいと思います。
- ・「自分には良いところがある」と回答した児童の割合は全国平均より低いものの、「人の役に立つ人間になりたい」と回答した児童は100%に上りました。自己肯定感を高め、より良い社会の創造に寄与できる人間に育っていけるよう関わっていきたいと思います。
- ・「友達関係に満足している」児童は全体の約98%と高い数値となりました。一方、自分と違う意見について考えることが楽しいと感じている児童の割合は、約61%でした。このことは、同じ考え方の友達同士でグループを作ることが多く、違う考え方の友達が仲間に入りにくかったり、学習場面で、別の見方、考え方が理解しにくい、または知ろうとしなかったりするという可能性を示唆していると考えられます。自分と違う意見から、新しい発見につながることの素晴らしさについて理解を深められるよう、関わってまいります。
- ・国語、算数、英語について、それぞれの勉強が「大切だと思うか」の質問に「当てはまる」と回答した児童の割合は、いずれも全国平均よりも大きく下回りました。小学校での各教科の学習内容は、今後学習する内容の基盤となることはもちろん、今後の人生をよりよく生きていくための基盤となるものです。このことを踏まえ、学校生活の中のあらゆる場面をとらえ、その活動が実生活のどの場面で役立つのかを児童に分かりやすく伝えてまいりたいと思います。

最後に、今後も本校が掲げる学校教育目標「心身ともに健康で、自ら学び、高め合い、自立する陵北っ子の育成」のために、学校、家庭、地域が連携し、児童への教育の充実を図ってまいりたいと考えております。引き続き、本校の教育にご協力を賜りますようお願い申し上げます。